



2021年4月4日の広布唱題会の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

「やいと」とはお灸のことで、古来から漢方療法として重要視されている。肌に「もぐさ」をすえて火を点じ、その熱の刺激が体内の諸器官に働いて回復能力を発揮させる。その瞬間の熱さや痛みはあるものの、神経の痛みを除き、滞った悪い血液を循環させ蘇生の一助となるのである。大聖人はこの「やいと」を、小苦を受け大楽を味わう譬えとされた。「設(たと)へば灸治(やいと)のごとし。当時はいたけれども、後の薬なればいたくていたからず」(御書1397頁)と。私たちは眼前に横たわる少々の難渋に耐えかねて仏道から離れがちな衆生である。仏様が示す罪障消滅の意味が分からないからだ。自らの地獄・餓鬼・畜生界といった下等な根性に振り回されぬよう成仏への大欲に転換し真剣に勤行・唱題をなし、妙法広布の大役を担っていかうではないか。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その9)

創価学会の昭和52年路線という教義逸脱問題の最中、遡ること昭和48年頃より創価学会は、池田の意向に従い、学会や池田氏個人に下付された紙幅の御本尊を、御法主上人の許しを得ることなく、勝手に板御本尊に模刻していたことが発覚した。その御本尊は第64世日昇上人・第66世日達上人御書写による全八体であった。昭和53年、このうち一体は日達上人の許可によりそのまま学会本部に安置され、他の七体は、日達上人から叱責されて、直ちに総本山に納められた。この大謗法事件については、昭和53年11月7日に総本山で開催された「創立48周年記念登山代表幹部会(通称おわび登山)」で、辻副会長が「不用意にご謹刻申し上げた御本尊については、重ねて猥下のご指示をうけ、奉安殿にご奉納申し上げます」と公式に発表し謝罪した。(次号はその他、教義逸脱の概要を記す)

③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(人生の土台について)

大昔、智慧のない富豪の愚人がいた。愚人はあるとき豪勢な家を見た。三重の楼閣であった。愚人は「自分は彼に劣らない財産を持っている。これ以上のものを造れないわけがない」と思い、木匠といわれる大工に建築を依頼した。大工は地をならし、石を積み重ね、立派な三重の楼閣とお濠(ほり)を完成させた。時に愚人はその立派な建物を見てひどく落胆した。愚人は最上階の楼だけが欲しかったのである。大工に文句をつけると、大工は「どうして最下を造らないで二階ができ、二階を造らないで三重の屋を造ることができようか」と嘆いた。法華経の教えと修行は人生の土台を説く。また正しい仏法への帰命が国土を救い、家庭の色を変えることを説く。日蓮大聖人曰く「衆生の心汚るれば土も汚れ、心清ければ土も清し」と。法遍寺をお訪ね下さい。

第51号

法遍寺 から大切な 皆様へ

2021年5月1日

日蓮正宗 年間方針

宗祖日蓮大聖人
御聖誕800年の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 日々勤行・唱題の実践

功德の源泉

一家和樂の信心

② 折伏実践こそ最善の報恩行

御命題達成

誓願成就

③ 寺院参詣と登山で人材育成

無始の罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料